青森民医連医師医学生課発行　–医師を目指す高校生のための医系情報マガジン- Vol.87　7月号

Road to Doctor

皆さんこんにちは！いよいよ夏ですね！！連日真夏日で寝苦しい夜が続きますが、エアコンに当たりすぎると次の日、『体がだるい』なんてことないですか？朝までエアコンをつけっぱなしだと、この症状がでやすいそうです。寝はじめだけ使用しましょう。また、湯船につかるのも効果的らしいですよ(*^。^*)

さて今月は、毎年行われる「医学生のつどい」の報告です！今年の年間テーマが“医師の使命”その第一回目が6/24-25の日程で広島にて開催されました。広島と言えば･･･広島焼、カープ･･いやいや、「平和」でしょう!!

引き続き、医学生や医師に対する質問も募集していますので、ハガキにてお寄せください。また、住所が変わった、今後購読を希望しないという方も、お手数ですが同封のハガキにてお知らせくださるようお願いいたします。

38つどいFirstQuarter In広島「平和」

原爆ドーム
昭和20年8月6日、史上はじめての原子爆弾によって破壊された旧広島県産業奨励館の残骸である。爆弾はこの建物のほぼ直上600mの空中で爆発した。その1個の爆弾によって20万を超える人々の生命が失われ、半径約2kmに及ぶ市街地が廃墟と化した。この悲惨な事実を後世に伝え人類の戒めとするため、国内外の平和を願う人々の寄金によって補修工事を施し、これを永久に保存する―
昭和42年8月6日　広島市　～碑文より抜粋～

医療者が平和を考える理由

修学旅行などで訪れることも多い広島ですが、皆さんは「平和」について考えたことはありますか？
皆さんが目指す医師(医療者)の使命の一つは「いのちを守ること」だと思います。では、それを阻む要因は何でしょうか？感染症、ウイルス、癌、生活習慣病、傷害(事故)･･･数えるときりがありません。WHOが発表した2015年の世界全体での死者数は5,640万人。このうち70%以上を非感染性疾患(NCD)が占めています。一方で、英国の国際戦略研究所(IISS)が発表した同年の紛争による死者数は16.7万人と、全体の1%にも満たないのです。ですが“いのちは平等”という視点に立てば、数は少ないけれど1%のいのちです。この人々は紛争(戦争)さえなければ落とす必要のないいのちです。そして紛争(戦争)はなくすことが可能なのです。

つどい報告① 学習講演(24日)

ⅰ)「医療SWとして出会った人々」 講師：山田寿美子氏
2歳のとき自らも広島で被爆し、長年MSWとして部落における被爆者や生活困窮者の支援をされてきたこと。被爆者の実態について講演した。被爆者は健康被害だけでなく、差別や貧困にも苦しんできたこと、被爆者は社会的弱者にもなっていることなどを話された。

ⅱ)「医師の使命を考える～今の時代に求められる私たちの役割～」 講師：藤原秀文医師(広島民医連副会長)
医師や医学者は原爆の実相を科学的に理解できる力がある。しかし、原爆症認定裁判で放射線による人体への健康影響の事実を知りながらも、専門医としては放射線が原因だと断言できない。考えてほしい、国家試験を通れば「医師にはなれる」。が、医師になることはゴールではない。外科医、内科医になろうがそれは片足で車で言えば片輪でしかない。医師として生きていくには、もう一方の足、車輪が必要である。医師・医学生という選ばれしエリートたちが、特権的な知識・技術を身に付ける、その“力”は誰のために、何のために活かすのかを。

つどい報告② フィールドワーク(25日)

2日目は平和記念公園周辺の記念碑等を巡りました。現地ガイドのお話しと一緒にいくつか紹介します。

Ⅰ.広島平和都市記念碑

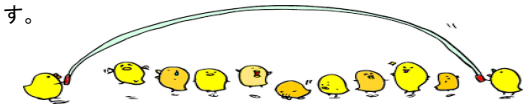
石棺前面に元広島大教授雑賀氏の手で「安らかに眠ってください過ちは繰り返しませぬから」と刻んであります。
かつて、この碑文について“主語がない”との論争がありました。現在では、主語は全世界の人間を意味する「We」であり、碑の前に立つすべてのものが核戦争を起こさせないことを誓うという点で同意形成されています。

Ⅱ.広島市立高女の慰霊碑

広島の人々は、平和通りを「100メートル道路」と呼びます。当時この辺りは空襲による延焼被害を防ぐために解体・立退の命令が出されており、女学生・中学生(11～16歳)が作業中でした。
その最中に原爆が落とされたのです。職員とあわせて584人全員が死亡しました。碑には3人の少女が彫られ、中央の少女は天使の輪と羽があり亡くなったことを象徴しています。左右の少女は今を生きる人々を表します。また中央の少女が持つ箱に「E=MC²」の原爆の基となった公式が彫られています。当時は占領軍のプレスコード下で原爆の文字が使えなかったためです。

Ⅲ.原爆供養塔

平和記念公園西北端にある直径10mほどの塚。本当の意味のお墓と言える場所です。原爆はすぐ北にあるT字型の相生橋を目標に投下されました。爆心直下のこの一帯は全滅しました。広島市には当時、太田川が枝分かれした7つの川があり、どこへ行くにも橋を渡る必要がありました。原爆により橋が崩壊したため川中や岸辺は特に惨状で、市内も熱線による火事嵐で焼死した人々の遺体・遺骨が散乱していました。1946年に修派をこえて納骨堂を作り、1955年に現在の形になっています。約7万人の遺骨が納められていますが、この数字はあくまで推測です。さらに当時は、軍人や児童、朝鮮から連行されてきた人など職業も民族も年齢も異なる人々が眠っているのです。2016年6月現在も、名前はわかっているが、引き取り手の無い遺骨が815人ここに眠っています。



2017年夏季医師体験 開催のお知らせ

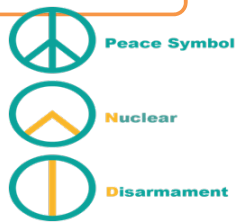
今年も医師体験の時期がやってきました！！
皆さん、是非お誘いあわせの上ご参加ください＼(^o^)／

・弘前地区
7/27(木)『初回体験』＠健生病院
7/28(金)『往診体験』＠黒石診療所
7/29(土)『手術体験』＠健生病院
8/2(水)『精神科体験』＠藤代健生病院

・青森地区
8/3(木)『リピータープログラム』＠あおもり協立病院
8/4(金)『リピータープログラム』＠あおもり協立病院

・八戸地区
7/24(月)『往診体験』＠八戸生協診療所

スタッフ一同お待ちしています！



Road to Doctor 6月号の感想

- 仕事と子育ての両立を頑張っている(楽しんでいる？)日々が具体的に書かれていて、将来像を描いていました。子育てだけでなく、なんでも優先順位を考え行動することが大切だと思いました。こんな小児科の先生にだったら安心してお母さんたちが受診できると思いました。　(PN.　匿名)
- 加村先生お話、とても元気が出ました。よく、女性の医師は子供をもつと大変･･･等々、将来へのマイナスなことを聞きますが、やり方次第でどうにでもなる！と考えられるようになりました！　(PN. FA.)

民医連 青森民医連奨学金制度

青森民医連には「医学生奨学金制度」と「高卒生奨学金制度」の2つの奨学金制度があります。

●医学生奨学金制度(右表上)は、日本全国の医学部(医学科)に在籍する医学生が対象です。返還義務がありますが、卒業後一定期間、青森民医連加盟の医療機関に勤務してもらうことで返還が免除されます。

●高卒生奨学金制度(右表下)は、高校卒業後、医学部(医学科)への合格に向けて勉強している30歳までの方が対象です。貸与期間は3年まで。返還義務がありますが、医学部(医学科)合格後、医学生奨学金制度に移行し、青森民医連加盟の医療機関に勤務すると返還が免除されます。

どちらも時期・学年を問わず随時募集しています。詳細は、下記連絡先まで気軽にお問い合わせください。

◆医学生奨学金制度

	特別奨学金	一般奨学金
入学金貸与	あり(1年次のみ)	なし
奨学金貸与額	20万円以内／月	10万円以内／月
定員	各学年5名	なし
返還免除の条件	卒業時に返還義務が生じますが青森民医連に勤務すると返還が免除されます	
	貸与期間の1.5倍	貸与期間の1.0倍

◆高卒生奨学金制度

	コース①	コース②
貸与額	10万円／月	20万円／月

青森民医連での各種企画の報告はホームページに詳しく掲載しております。
奨学金制度のお問合わせや病院実習のお申し込みは、
ホームページ内『お問合せ』メールフォームよりご連絡ください。

青森民医連　検索
「青森民医連」で検索！

青森県民主医療機関連合会 医師医学生課 (青森民医連 弘前事務所)
〒036-8203 弘前市本町95丸二ビル1F　【9:00～17:00】
お問い合わせメールアドレス：aomin-igakusei@kensei-hp.com
0172-34-5455
http://www.kensei-hp.com